

一般財団法人 切手の博物館

2016年度 事業報告書

2016(平成28)年4月1日～2017(平成29)年3月31日

【概要】2016年度は、切手の博物館が目白に開館して20周年となる記念の年でした。切手の博物館は、見て、触って、歴史を学ぶ「切手と遊ぶ発見ミュージアム」をコンセプトとして、地域に貢献する博物館を目指してきました。そこで、感謝の気持ちを表す「ありがとう」を開館20周年のテーマに掲げ、年間を通じ、さまざまな記念事業を実施しました。

I. 継続事業

1. 収蔵品の収集、保存、公開

(1) 企画展示・特別展示の開催

①企画展示

1階展示室で、3ヵ月ごとにテーマを替えて行いました。展示内容及び広報については、企画展示委員会において協議しています。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
4月1日(金)～6月29日(水)	開館 ^{ニャンジュウ} 20周年記念「ふたたびのネコ」	78	5,920
7月1日(金)～9月29日(木)	切手の山	78	3,570
10月1日(土)～12月28日(水)	ボーン ^{ボーン} ・骨 ^{ボーン} ・骨 ^{ボーン}	76	3,940
1月5日(木)～3月30日(木)	LOVE	73	3,141
合計		305	16,571

②特別展示

○3階展示室で、有料展を次の通り開催しました。

会期	展覧会名	開館日数	入館者数(名)
5月1日(日)～ 5月5日(木・祝)	切手の博物館開館20周年記念特別展 「切手という小さなキャンパス」	5	858
7月16日(土)～8月14日(日)	きて★みて★きって2016	26	1,049
11月3日(木・祝)～ 11月6日(日)	切手の博物館開館20周年記念特別展 〈秋〉「著名人の切手と手紙」	4	291
12月3日(土)～12月25日(日)	切手の博物館のクリスマス	20	1,087
合計		55	3,285

*5月2日(月)は開館20周年記念事業の一環として、1階・3階ともに臨時開館。

○3階展示室で、無料展として「第14回切手はり絵コンテスト作品展」[9月3日(土)～9月18日(日)]を開催しました。

※以下の期日に、豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。

4月8日(金)…切手の博物館・開館20周年(開館記念日)

5月1日(日)～5月5日(木・祝)…切手の博物館開館20周年 切手という小さなキャンバス
まことちゃんポスト設置記念

5月18日(水)…国際博物館の日

7月23日(土)…ふみの日

8月11日(木・祝)…山の日

10月8日(土)…「骨・骨・骨」展

11月5日(土)…切手の博物館開館20周年記念展

12月3日(土)・12月20日(火)～12月25日(日)…切手の博物館のクリスマス

2017年2月11日(土)・12日(日)・14日(火)…LOVE展

(2) 蔵書の公開

図書閲覧室では、蔵書を開架図書と閉架図書に区分し、一般の利用に供しています。閉架図書の利用は63名、189冊でした。

(3) 入館料の特典

①開館記念日(4月8日(金))の入館料無料。(入館者数175名)

②毎月23日・ふみの日(5月及び2017年1月は休館日に当たるため24日(火))の入館料無料。

③厚生労働省が推進する「児童福祉週間」[5月5日(木・祝)～5月8日(日)]の小中学生入館料無料。
(小中学生の入館者数28名)

④国際博物館会議(ICOM)及び(公財)日本博物館協会が提唱する第14回「国際博物館の日」(5月18日(木))の入館料無料。(入館者数128名)

⑤バレンタインデー(2月14日(火))の女性の入館料無料。(女性の入館者数・約80名)

(4) 資料の収集・保存管理

①日本及び世界各国の新切手を常時追加購入し、発行国・地域別にレファレンス・コレクションとして整理・管理を行っています。

②図書収蔵委員会を月1回開催し、郵便切手関連資料の購入検討、新規受入図書の項目別クロス・インデックス作り及び収蔵図書の件名統一を続けています。

③図書室へは41名の方から、744冊(単行本136冊、雑誌608冊)が寄贈されました。(公財)日本郵趣協会及び(株)日本郵趣出版発行の全刊行物、並びに郵趣団体発行の支部報や雑誌の寄贈も受けています。

2. 展覧施設の運営管理

(1) 来館者サービス

来館者の満足度を高めるために、以下のサービスを提供しました。

①開館20周年記念事業の一つとして、スクラッチ特典付き入館券を使用。「当たり」が出ると次回入館料が無料になる。(有効期間1年、2016年度利用者107名)

②1階のパソコン・コーナーでは、企画展示のテーマに合わせて全国の風景印を紹介するほか、切手

の博物館のホームページの閲覧サービスを提供。

- ③展示の観覧を助けるルーペとハンドライトの貸出し。(利用人数 それぞれ73名、318名)
- ④図書室閲覧においては、国内外の新刊本・話題本などを紹介すると同時に、一部の書籍を販売。また、コピーサービスを提供。(コピー利用人数147名)
- ⑤来館のたびにスタンプを押し、一定の数になるとプレゼントと交換できる「ウェルカム・カード」を発行。また、開館20周年を記念し、毎月20日はスタンプを2倍押印。(プレゼントとの交換人数172名)
- ⑥小中学生向けに、展示を見て答える「切手クイズ」を実施。(参加者1,155名)
- ⑦小中学生向けに、ホームページでも「切手クイズ」を実施。(参加者57名)
- ⑧切手の博物館のイベント案内や新切手の発行案内などを掲載した情報チラシ「MAYっこ」を、毎月1回、ふみの日(23日)に発行。
- ⑨1・2階の入館料を日本の未使用切手で支払えるサービスを実施。(利用人数918名)
- ⑩1・2階の入館を対象とした「年間パスポート」を発行。(期末在籍数50名)
- ⑪プレゼント企画を実施。「ふたたびのネコ」展で毎月28日を「にゃんこの日」としてオリジナル・ポストカードをプレゼント、「骨・骨・骨」展でスカル・グッズの提示でオリジナル・ポストカードをプレゼント。
- ⑫英語の館内サインの設置及び英文パンフレットの製作・配布。
- ⑬公衆無線LAN「Wi-Fi」サービスの開始。(4月1日～)

(2) 記念品の頒布

記念品として、日本及び世界各国の郵便切手類並びにスーベニアグッズを販売しています。さらに郵便局ガチャコレクションの販売を開始しました。また、開館20周年記念グッズ各種を製作・販売しました。

(3) 市民参画

- ①切手の博物館メンバー「MAY(メイ)」の会員を引き続き募集し、会員にはメンバーニュース「MAY」及び「受入図書リスト」を配布しました。期末の会員数は83名で、内訳はM(メジャー)メンバーが51名、A(アシスト)メンバーが30名、Y(ヤング)メンバーが2名です。
- ②切手はり絵(館内・出張)及び切手たんけん隊の補助役として、登録ボランティア制度を設けています。
- ③切手はり絵に使用する切手の区分には、ボランティア述べ44名の協力を得ました。また、近隣の高等学校ボランティア部活動を受け入れ、切手の区分などを実施しました(3回)。

3. 普及啓発事業

(1) 施設内活動

郵便切手文化に触れる楽しみを広げ、理解を深めていくために、以下の活動を実施しました。

- ①開館20周年記念事業として、日本郵便(株)の切手デザイナーを招いてスペシャル・トークを開催。
5月5日(木・祝)… 玉木明氏、星山理佳氏の2名、参加者延べ91名
12月23日(金・祝)… 星山理佳氏、参加者50名
- ②企画展示室においてギャラリートーク(展示解説)を開催。

- 「ふたたびのネコ」展…学芸員担当、「国際博物館の日」記念事業を兼ねる、参加者11名。
- 「切手の山」展…山岳切手収集家・鳥海真一氏担当、参加者13名。
- ③参加型のワークショップ及びイベントを開催。
 - 体験！切手はり絵…毎月第3日曜日、参加者434名
 - ちょっとだけ体験！切手はり絵…平日(火曜～金曜)、参加者79名
 - 切手たんけん隊…8月土曜日(4回)、参加者17名
 - 開館20周年記念事業として(カッコ内は参加数)
 - 春…手すきはがき体験～すかしを知ろう～(312枚)、切手バッジ作り(89個)、切手マグネット作り(94個)、布コラージュ・アートカード作り(103名)、世界の切手でしおり作り(213枚)
 - 秋…香り付きポストカード作り&マイノート作り(20名)、世界の切手でしおり作り(162枚)
- ④開館20周年記念出版として、特別展と連動した「著名人の切手と手紙」を刊行。
- ⑤日本郵趣協会主催「スタンプショウ2016」のスタンプラリーとコラボして、「切手の博物館でスタンプを押して記念品プレゼント」を実施。(4月29日～5月5日、プレゼント178名)
- ⑥日本郵趣協会主催の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2016」(8月)に協賛し、切手はり絵ワークショップの材料提供。
- ⑦近隣の小学校(目白小)と中学校(大泉学園)の校外学習、及び大学(愛知大)のグループ研究を受入れ。

(2) 施設外活動

以下の活動を通じて郵便切手文化の普及並びに当館の周知に努めました。

- ①豊島区の「子どもスキップ」(放課後児童施設)において、「出張切手はり絵」を7回開催(参加者129名)。また、切手はり絵ワークショップの材料を10施設に提供。
- ②近隣の小学校(目白小)の図工教材として使用済切手を提供。
- ③近隣の中学校(豊島岡女子学園)の学園祭において、切手はり絵作品の出張展示を実施。(11月5日・6日)
- ④日本郵趣協会が行っている「切手趣味週間ミニ切手展」キャンペーンに協力し、全国の博物館をはじめ各公共機関29ヵ所でミニ切手展を開催。
- ⑤日本郵趣協会の社会貢献事業「手紙を書こう！プロジェクト2016」を協働して推進。
- ⑥日本郵趣協会主催の「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2016」に協力し、コンクール審査に審査員を派遣。
- ⑦郵便切手に関する国際文化交流事業を支援。

(3) 広報活動

- ①切手の博物館開館20周年記念特別展「切手という小さなキャンバス」と「著名人の切手と手紙」、及び「体験！切手はり絵」をPRするチラシを作成し、近隣の施設、小学校などに配布しました。
- ②企画展示、特別展示、各種イベントを、ホームページ及びフェイスブックで広報したほか、新聞・ラジオ・テレビ・出版社・Webサイトなどに発信しました。
- ③切手などに関するマスコミの照会・取材、また単行本や学習教材の挿絵用に切手を使いたいという申込みにも、積極的に応じています。
- ④郵便切手文化に関する専門誌に展示などの案内をするほか、日本郵趣協会主催の展覧会に協力するなど、当館のPRに努めました。

- ⑤切手の博物館だより「MAYっこ」を1ヵ月に1回、豊島区の「子どもスキップ」などに送り、地域への広報に努めています。
- ⑥割引引換券を活用したり、様々な団体の会員特典に協力し、来館促進に務めました。
- ⑦開館20周年記念事業として、日本郵便及び著作権管理会社の協力を得て、当館玄関前のポストに装飾を施し（愛称「まことちゃんポスト」）、郵便切手ファンの拡大に力を入れました。（5月1日除幕式）
- ⑧日本郵趣協会が発行する切手カタログなどに図版を提供し、専門出版物において財団名をPRしました。

（4）他館との交流

切手の博物館開館20周年記念特別展「切手という小さなキャンバス」にて、切手原画等を郵政博物館から10点、日本郵便から6点借用し、展示しました。同特別展「著名人の切手と手紙」では、郵政博物館から切手原画19点を借用し、展示しました。

4. 学術調査研究事業

（1）調査研究

- ①紀要編集委員会の査読を経て、研究者の調査研究成果を取りまとめた「研究紀要」（第13号）を発行しました。
- ②日本博物館協会主催の全国博物館長会議、東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会及び各種研修会に出席し、他館との交流を図るとともに、学術調査研究事業の質的向上に努めています。
- ③科学研究費補助金の指定研究機関として、諸手続きを行っています。

（2）鑑定

郵便切手類の真贋の鑑定を鑑定委員会のもとに行い、141点の鑑定書を発行しました。

5. 顕彰事業

「第14回切手はり絵コンテスト」を開催しました。「きて★みて★きって2016」期間中に作品募集を行い、全応募作品222点を展示するとともに、優秀作品には賞状並びに記念品を授与しました。

6. 文化支援・助成事業

（1）文化支援

- ①郵便切手文化活動の支援の場として、「切手バザール」（8回）、「0tegamiフリマ」（日本郵趣協会と共催、4回）、及び「図書バザール」（1回）を開催しました。「0tegamiフリマ」では豊島郵便局が臨時出張所を開設、小型印の押印サービスを実施しました。
- ②日本郵趣協会主催の学術調査研究発表会などに3階展示室を提供し、公益活動を支援しました。

（2）助成

- ①郵便切手文化の振興を図るため、日本郵趣協会主催の展覧会において、特別賞を寄贈しました（2件）。

②郵便切手に関する書籍の出版に対して、費用の一部を助成しました（5件）。

③博物館の社会貢献活動の一つとして、エントランスに専用ボックスを置いて紙付き古切手の寄付を募り、集まった古切手は公益法人等に寄贈する活動を続けています。

Ⅱ. その他事業

鑑賞・収集の対象となる日本及び世界各国の郵便切手類を、ミュージアム・ショップにて受託販売しています。

附属明細書（事業報告関係）

補足すべき重要な事項はないため、附属明細書は省略する。